

発行元:うるま市・沖縄市 ちゅらま～み(腎)プロジェクト
(CKD・糖尿病性腎臓病予防に向けた病診連携登録医事業)事務局

令和3年4月発行

●病診連携推進・評価委員会 報告

令和3年2月18日(木)うるま市健康福祉センターうるみんにて、令和2年度 第2回評価委員会を行いました。主な議題として、今年度の事業実施状況や事業評価等の報告、かかりつけ医から腎臓診療医への紹介件数の集計方法、登録更新期間の変更等について、活発な意見交換を行いました。



登録医数(及び医療機関数)、かかりつけ医から腎臓診療医への紹介件数

●登録医の人数及び医療機関数について

	(人)
CKD登録医	55
腎臓診療医	15
計	70



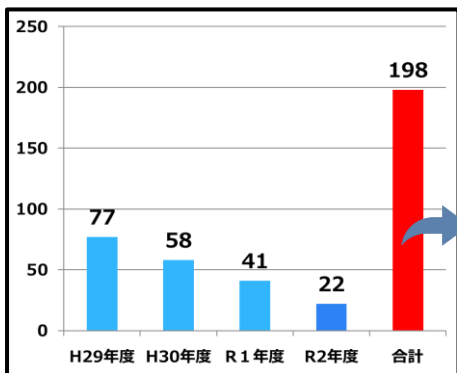
登録医療機関数

34カ所

R2年度のうるま市・沖縄市 CKD・糖尿病性腎臓病 病診連携医登録事業について、R3年2月現在の登録医は**CKD登録医55名**と**腎臓診療医15名**、**合計70名(医療機関34カ所)**の医師の先生方にご登録頂いております。

今後とも、登録医の先生方からご尽力賜りたい所存です。宜しく願い致します。

●紹介件数(R3年2月1日現在)



腎臓診療医	
病院	計
① 中部病院	93
② 中頭病院	102
③ すながわ内科	2
④ 安立医院	1
計	198

かかりつけ医から腎臓診療医に紹介した件数は、H29年度からR2年度までに**198**件となっています。かかりつけ医から事務局へのFAX報告で、現在集計しておりますが、実際腎臓診療医の医師に紹介される件数は、もっと多いとの指摘を受け、今回の評価委員会の中で、『令和3年度より、ご協力頂ける腎臓診療医から事務局に**3**か月に**1**回を目安にご報告して頂く』事を予定しています。従来の方法と集計数にどの程度差があるかなど確認し、集計方法について検討して参ります。

●健診からの受診勧奨件数(H29-R1)

うるま市

	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度(途中経過)	
	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医
対象者	198	141	188	130	163	119	158	113
受診勧奨者	144	97	134	87	126	92	64	45
介入率	72.7%	68.8%	71.3%	66.9%	77.3%	77.3%	40.5%	39.8%
医療受診者	94	56	96	58	62	44	24	18
受療率	65.3%	57.7%	71.6%	66.7%	49.2%	47.8%	37.5%	40.0%

沖縄市

	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度(途中経過)	
	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医	CKD登録医	腎臓診療医
対象者	162	120	339	214	250	190	65	55
受診勧奨者	114	81	208	142	134	105	53	43
介入率	70.4%	67.5%	61.4%	66.4%	53.6%	55.3%	81.5%	78.2%
医療受診者	39	26	126	78	65	48	19	17
受療率	34.2%	32.1%	60.6%	54.9%	48.5%	45.7%	35.8%	39.5%

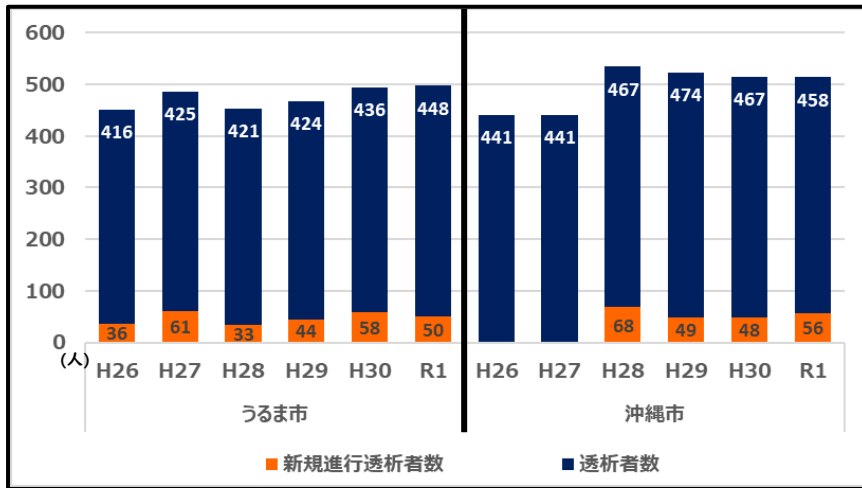
R元年度は、うるま市は介入率77.3%・受療率49.2%で、沖縄市は介入率53.6%・受療率48.5%となっています。

約半数の未受診者へのアプローチが今後の課題です。



人工透析導入者の状況について(うるま市・沖縄市)

●総数・新規



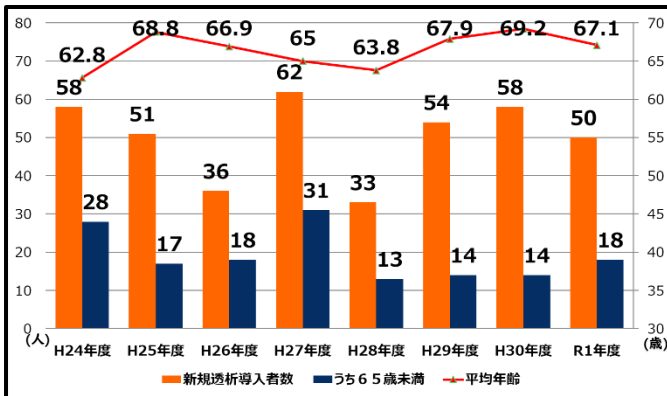
R 元年度の人工透析導入者(カッコ内は新規人工透析導入者)は、うるま市 448 名(新規 50 名)で、新規は前年度より減少していますが、総数は少し増加しています。

沖縄市は 458 名(新規 56 名)で、総数は少し減少していますが、新規は前年度より増加しています。

データ)更生医療+KDB システム(国保・後期)

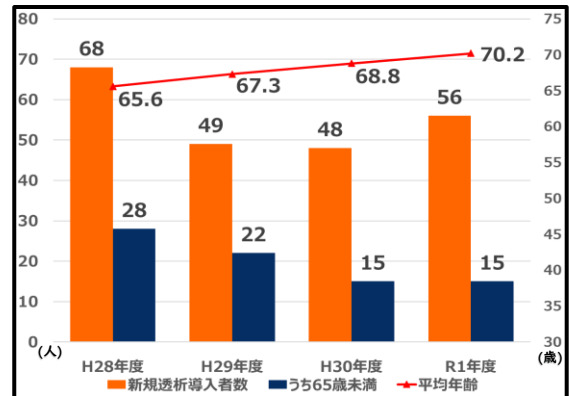
※沖縄市の H26 と H27 は更生医療のみ。

●国保・新規人工透析導入者(うるま市)



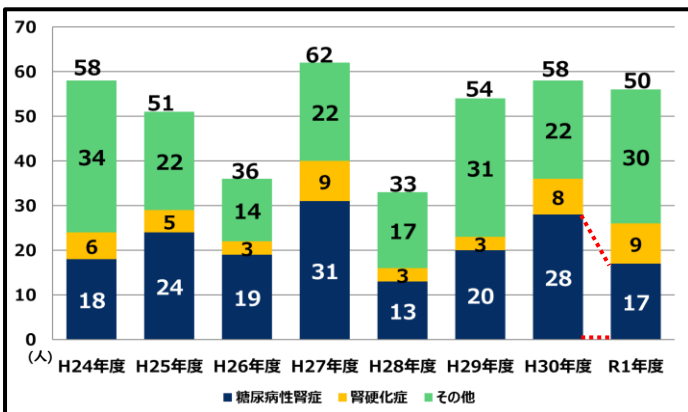
R 元年度のうるま市国保加入者の新規人工透析導入者は 50 名(65 歳未満は 18 名)と、前年度より減少しており、導入平均年齢は 67.1 歳となっています。

●国保・新規人工透析導入者(沖縄市)



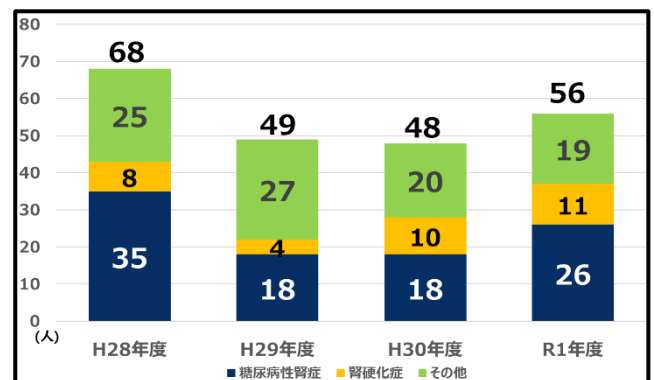
R 元年度の沖縄市国保加入者・新規人工透析導入者は 56 名(65 歳未満は 15 名)と、前年度より増加しており、導入平均年齢は 70.2 歳となっています。

●国保・新規人工透析導入者のうち、糖尿病性腎症、腎硬化症に占める割合(うるま市)



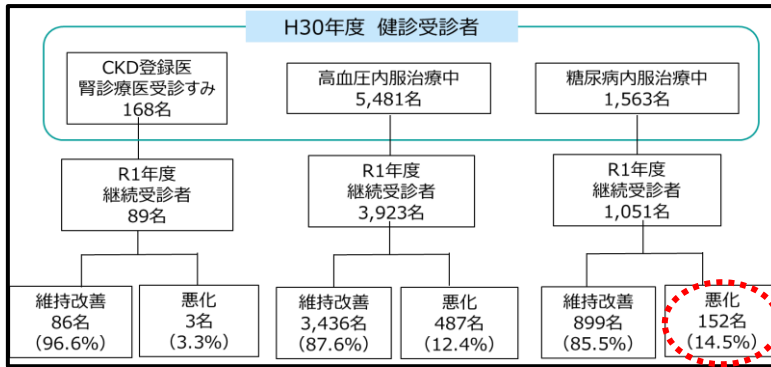
糖尿病性腎症は、H30 年度 28 名(48.3%) → R1 年度 17 名(34.0%)

●国保・新規人工透析導入者のうち、糖尿病性腎症、腎硬化症に占める割合(沖縄市)



糖尿病性腎症は、H30 年度 18 名(37.5%) → R1 年度 26 名(46.4%)

健診継続受診者 (H30-R1 年度) の CKD 重症度分類比較【うるま市・沖縄市】



健診連続受診者(H30-R1)の比較では、CKD 登録医または腎診療医受診済の 89 名のうち、維持改善は 86 名(96.6%)でした。治療中では、糖尿病の方が高血圧と比べて、維持・改善率が低く、悪化率が高い状況がみられました。

2020年度 活動報告



新型コロナウイルス感染症対策に伴い、本事業も第 1 回評価委員会を書面での報告、協議で実施するなど影響がありましたが、徹底した感染症対策とオンライン(YouTube、ZOOM)を活用し、以下の事業について実施致しました。

コメディカル情報交換会 (YouTube 配信/Startup Lab Lagoon KOZA)



『いまさら聞けない減塩のはなし ～COVID-19 との共生時代を生きる～』をテーマに琉球大学の崎間敦先生にオンライン(YouTube)でご講演頂きました。CKD 予防には減塩が重要であり、施策として取り組む事の意義や海外等の事例を通して、説明して頂きました。オンラインでの質疑応答もあり、参加者の関心の高さが伺えました。後半は、沖縄市の看護師と管理栄養士による症例報告(推定一日塩分摂取量検査を活用した保健指導)を行いました。

登録医説明会(症例検討) (ZOOM 配信/うるみん)



ちゅらまーみプロジェクトの事業報告を、評価委員会・委員長の砂川博司先生が行い、続いて症例報告では、「Vit-D 製剤の急速腎障害(2例)」を中頭病院腎臓内科の山田伊織先生、「血糖値の上昇を伴わないDKA」「腎機能正常者で高Mg血症を発症した1例」を中部病院腎臓内科の芝池庸仁先生からご報

告頂きました。山田先生からは Vit-D 剤の薬剤性が骨粗しょう症治療には有効の一方で、高齢者への投与は高 Ca 血症リスクから慎重に進める事や、芝池先生からはDKAとSGLT-2阻害薬投与に伴うケトアシドーシスへのリスク等について、オンライン上の質疑応答で活発な意見交換がありました。



第2回コメディカル情報交換会 (ZOOM 配信/うるま市役所・東棟)



第2回のコメディカル情報交換会では、新型コロナウイルス感染症について、『これまで沖縄県で起きた事と教訓』と題して、県立中部病院感染症内科の横山周平先生に、これまでの県内の発生状況や今後の対策、医療現場等での事例などについてご講演頂きました。

続いて、『症例からみる新型コロナウイルス感染症と生活習慣病との関係』と題して、県立中部病院呼吸器内科の前田顕子先生から、肥満、糖尿病、CKD等の重症化リスクを予防する事でコロナ予防にも繋がる事について、ご講演頂きました。フロア(オンライン)では、持病の受診控えに関する事の質

問が挙がりました。血糖コントロールが良い人は医師との相談の上、受診間隔を決める事など具体的な提案もあり、アンケートの回答でも『新型コロナと生活習慣病予防の共通点を改めて学ぶ事が出来た』等の声がありました。

市民向け情報発信について

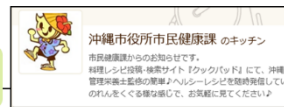
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定していた減塩教室等の事業の中止や、一時家庭訪問の制限等もの事業縮小もあった事を踏まえ、市民への健康情報発信を工夫して、レシピ検索サイト「COOKPAD」開設などの取組を行いました。

うるま市



- レシピ投稿サイト「クックパッド」うるま市公式キッチンを開設
 - ・減塩、健康レシピの普及啓発
 - ・105レシピ掲載、28万アクセス (1月末現在)
- 市広報誌1月号「保健だより」
 - ・尿中推定塩分摂取量検査
 - ・うるま市民の塩分摂取状況
 - ・全世代での減塩の必要性

沖縄市



- レシピ投稿サイト「クックパッド」沖縄市公式キッチンを開設
 - ・減塩、健康レシピの普及啓発
 - ・104レシピ掲載、15.3万アクセス (1月末現在)
- YouTube「おきはくん」開設
 - ・クックパッドより厳選したレシピ
 - ・自宅でできる体操や筋トレ動画
 - ・視聴回数2,685回 (1月末現在)



ちゅらまーみ事務局よりお知らせです。



今回の評価委員会では、R3年度に登録更新の時期となる医師が多い事から、登録期間について見直しをしております。

今年度の登録医説明会などで、決定しました期間についてご説明致します。登録医説明会へのご参加、宜しくお願い致します。

その他、ご意見・ご要望等ありましたら、お気軽にご連絡下さい。

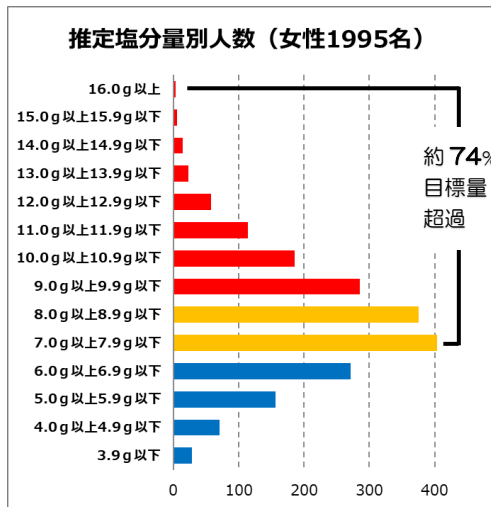
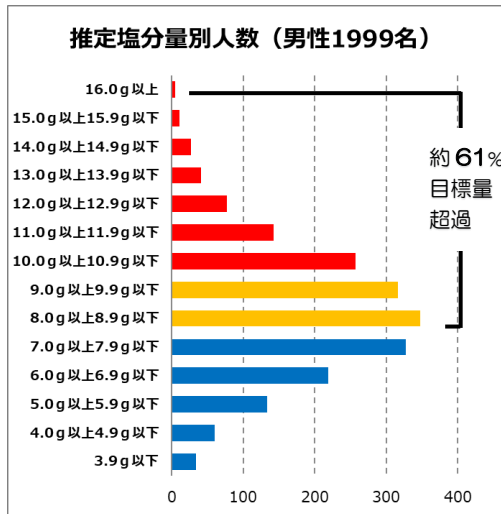
●うるま市役所健康支援課
☎(098)973-3209
✉kenkou-sienka@city.uruma.lg.jp

●沖縄市役所市民健康課
☎(098)939-1212
(内 2247)

✉a47hosido@city.okinawa.lg.jp

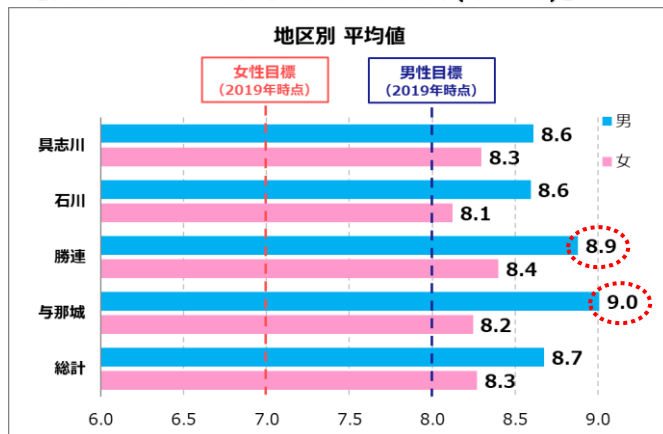
推定一日塩分摂取量検査について【うるま市】

●R元年度集団健診受診者のうち、3,994名(男性1,999名、女性1,995名)に実施。



●地区分析

【具志川・石川・勝連・与那城・総計(市全体)】

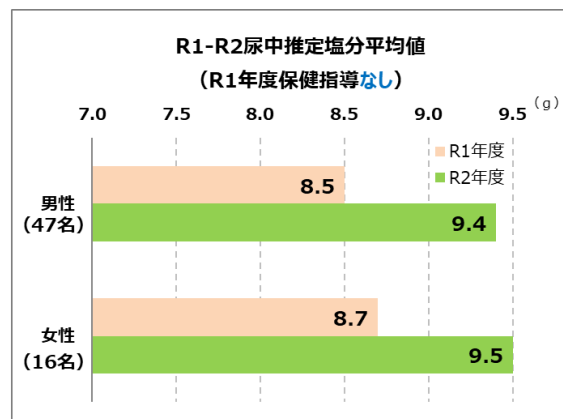
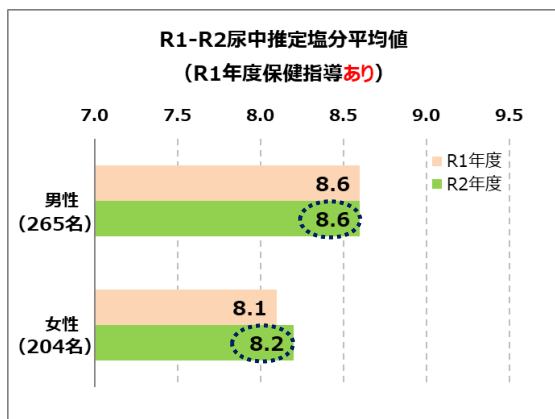


主な傾向

男女別で、推定塩分摂取量検査を見ると、男性**61%**、女性**74%**が目標値を超えていました。地区別では、**勝連・与那城地区の男性で特に多い傾向**が見られました。委員会の中でも、食生活の地域特性も背景にあるか質問が挙がり、『塩分が高く出た地域は、海が近く島嶼地域になるので近くにスーパーが少なく、新鮮な食材が少ない事や缶詰の利用が多いのでないか』と事務局からの回答がありました。

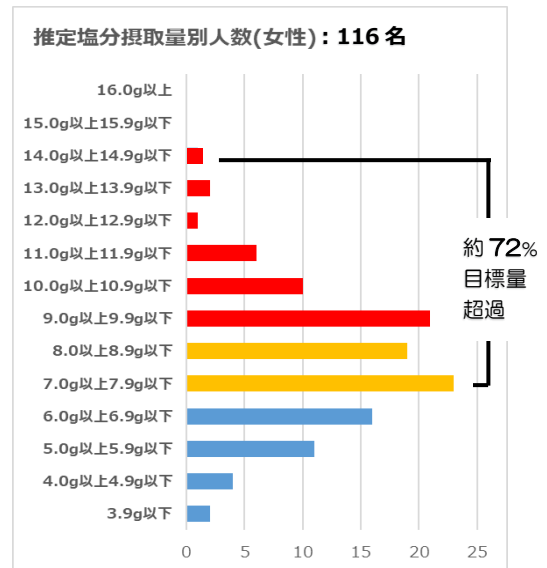
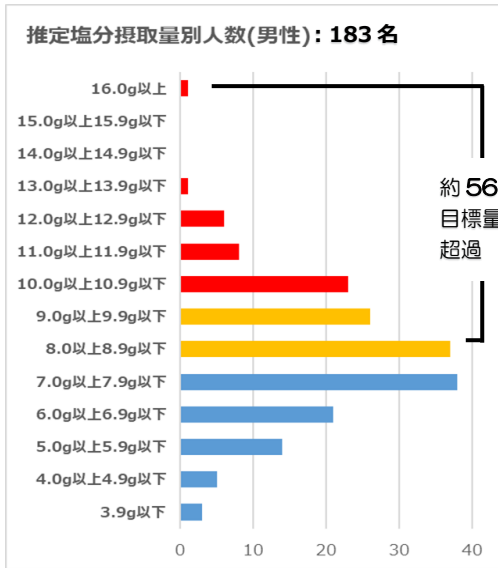
また、R元年度とR2年度(R2.12月時点)の推定塩分摂取量検査がある**1,236名**の中で、糖・脂質・血圧で有所見者(保健指導の優先度が高い人)のうち、『保健指導あり群』と『保健指導なし群』に分けて平均値を分析したところ、『**保健指導あり群**』の方では、翌年の推定塩分平均値が低い傾向が見られました。

●R1-R2年度比較【男女別・保健指導あり群、なし群】

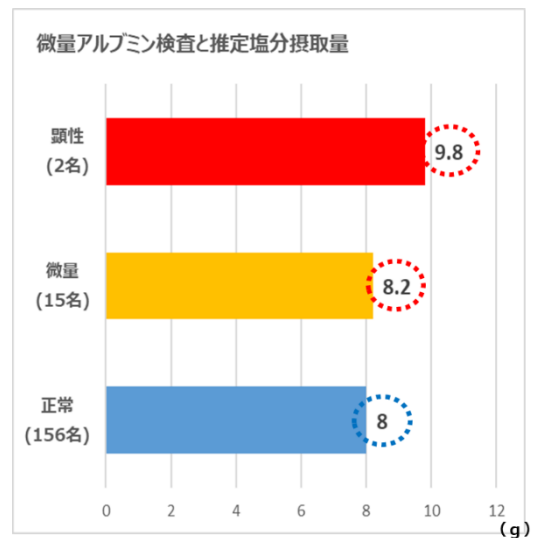
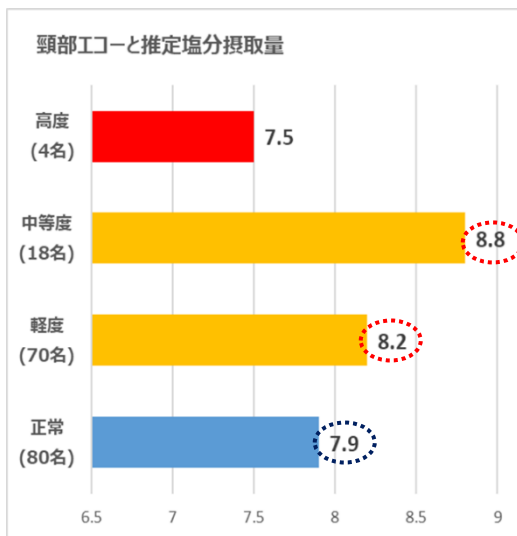


推定一日塩分摂取量検査について【沖縄市】

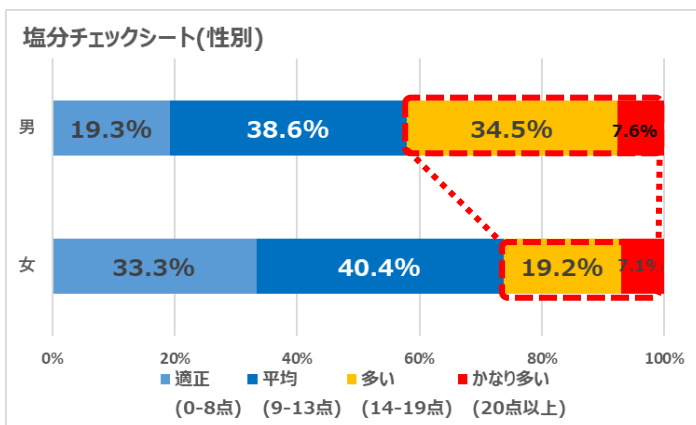
●R元年度特定保健指導実施済の者から、検査を希望した 299 名



●二次検査(頸部エコー検査、微量アルブミン尿検査)とのクロス集計



●塩分チェックシート(性別)点数



主な傾向

男女別で、推定塩分摂取量検査を見ると、男性 **56%**、女性 **72%**が目標値を超えていました。二次検査とのクロス集計では、頸部エコー検査の高度を除き、正常値に比べて軽度・中等度の動脈硬化で塩分摂取量が多く、腎機能を見る微量アルブミン検査では、正常値に比べて微量・顕性アルブミン判定で多い傾向がありました。塩分量が多い食生活を把握する為の「塩分チェックシート」では、男性の方が女性に比べて点数が高い(塩分摂取が多いと思われる)結果となりました。